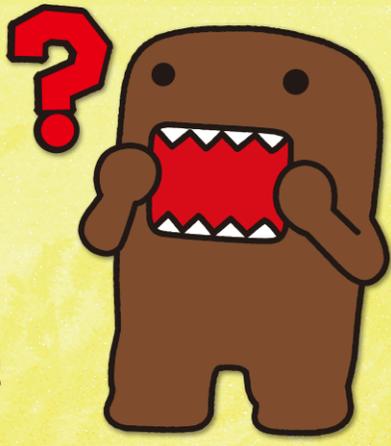
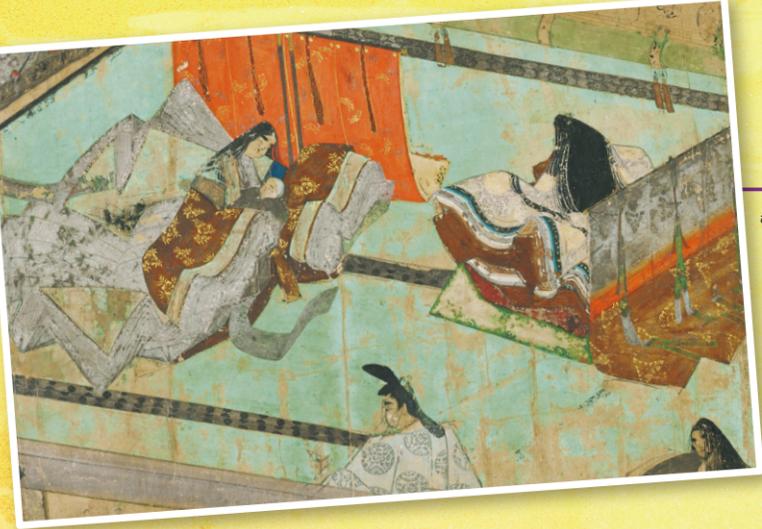


「やまと絵」とは



平安時代、お手本にしていた中国の絵画(唐絵)に対して、日本人々の日常の暮らしや、和歌に詠まれた身近な風景を描こうと生まれたもの。日本独自の文化として展開しました。



重要文化財
紫式部日記絵巻断簡
鎌倉時代・13世紀 東京国立博物館蔵

紫式部が残した日記を元に描かれた絵巻物。この場面は、一条天皇のお后である彰子(後ろ向きの人)とそのお父さんの藤原道長(横向き)、お母さんの北の方(赤ちゃんを抱く)が描かれています。

NHK for School



「平安時代」って?

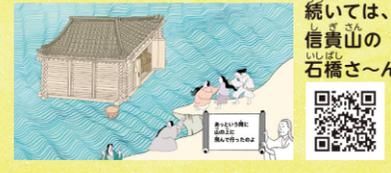
平安時代はどんな時代だったのでしょうか。描かれた絵巻から、貴族の優雅な暮らしと庶民の質素な暮らし、それぞれの様子を読み取ることができます。動画でチェックしてみましょう!

NHKの番組で「やまと絵」の世界を楽しもう!



国宝「信貴山縁起絵巻」、国宝「鳥獣戯画」など、展覧会に展示される作品を歌とアニメでご紹介!

E
火曜日 午後5時30分~5時35分
[再放送] 金曜日 午後11時50分~11時55分



大河ドラマ
「光る君へ」
2024年1月放送スタート
出演:吉高由里子(紫式部/まひろ 役)
柄本 佑(藤原道長 役)
作:大石 静
NHK+ 配信します
※NHKプラスの利用登録はこちら <https://plus.nhk.jp/info/>

躍動せよ! 平安の女たち男たち! 主人公は、千年の時を超えるベストセラー「源氏物語」を書き上げた紫式部。光源氏=光る君のストーリーの原動力は秘めた情熱とたぐいまれな想像力、そして一人の男性・藤原道長への想い。変わりゆく世を、変わらぬ愛を胸に懸命に生きた女性物語。



日曜美術館
E
日曜日 午前9時~10時
[再放送] 翌日曜日 午後8時~9時

NHK8K番組
「国宝 源氏物語絵巻 Genji Illustrated」
8K上映
NHK8K番組「国宝 源氏物語絵巻 Genji Illustrated」8K上映。平安時代末期、およそ900年前に宮廷で製作された国宝「源氏物語絵巻」。その魅力を8K高精細映像で充分にご紹介します。特別展「やまと絵」開催期間中、東京国立博物館平成館1階で上映予定です。展覧会と合わせてお楽しみください。

博物館からのお願い
ゆっくり歩いて 静かに見よう。
作品やケースにはさわらずに 目で楽しもう。
館内でメモを取る時は 鉛筆を使おう。

特別展 やまと絵 受け継がれる王朝の美
観覧料(税込)
一般 2,100円
大学生 1,300円
高校生 900円
2023.10.11(水)-12.3(日) 東京国立博物館[平成館]
開館時間:午前9時30分~午後5時
※金曜・土曜は午後8時まで開館(総合文化展は午後5時閉館)
※最終入場は閉館の60分前まで
休館日:毎週月曜日
※ただし本展のみ11月27日(月)は開館
土・日・祝日のみ 事前予約制(日時指定)
会期中、作品によって展示替があります。詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。このジュニアガイドは特別展「やまと絵」の鑑賞の手引きとして小学校高学年から中学生を対象に作成しました。
主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
協賛:TOPPAN、三井住友海上
展覧会公式サイト [@yamatoe2023](https://yamatoe2023.jp/) <https://yamatoe2023.jp/>

本ジュニアガイドでは、下記作品画像の一部を使用しています。国宝 日月四季山水図屏風 金剛寺蔵/国宝 信貴山縁起絵巻 飛倉巻 朝護孫子寺蔵/国宝 鳥獣戯画 甲巻 高山寺蔵/重要文化財 浜松図屏風/重要文化財 月次風俗図屏風/国宝 一筆墨絵 巻第七/国宝 平治物語絵巻 六波羅行幸巻/重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵 王生忠筆/重要文化財 紫式部日記絵巻断簡/国宝 片輪車時給螺鈿手箱/重要文化財 粘時絵巻箱 ※所蔵先の記載のないものはすべて東京国立博物館蔵

特別展 やまと絵

受け継がれる王朝の美

2023.10.11(水)・12.3(日) 東京国立博物館 平成館
TNM TOKYO NATIONAL MUSEUM (Tsum Park)

NHK ジュニアガイド

中学生以下は観覧無料です

YAMATOE

TRADITIONS OF BEAUTY FROM THE IMPERIAL COURT



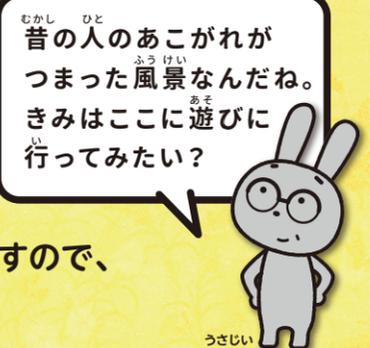
重要文化財 浜松図屏風 室町時代・15~16世紀 東京国立博物館蔵

やまと絵ってどんな絵？

重要文化財 浜松図屏風をみてみよう！

大きな松や柳のほか、四季の花々、60羽を超える鳥たちが画面いっぱいに描かれた屏風です。真ん中には大きな水辺が広がっていて、岸の向こうには侍の集団や漁をしている人々の姿が見えます。キラキラした雲や霞、地面には、金や銀のほかに、雲母と呼ばれる輝く素材が使われていてとても華やか。波や風の音、鳥のさえずり、人々の掛け声などが聞こえてきそうです。

ここには、やまと絵でよく見かけるものがギュッと詰まっていますので、ぜひ注目してみてください。



昔の人のあこがれが つまった風景なんだね。 きみはここに遊びに行きたい？

展示会が 終わったら...

キリトリ線(赤)に沿って屏風を切って折ると、おうちでも楽しめるよ！



完成

ここに注目

細かく見るほどおもしろい

金雲・霞



いたるところにふわふわと描かれている雲や霞。遠くの風景や地面との境目をぼやかす役割もはたして、幻想的な空間をつくりだしています。

花と鳥

鳥や風にゆれる花々がまるで踊っているように表現されています。



人々の営み

漁をしている人々。庶民の暮らしを感じることができます。



描かれているものをひとつずつ見ていくとたくさん発見がある絵だね

